

平成 24 年 6 月 吉日

日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(B) 研究成果講演会
「ICT を活用したレスキューベストの開発」開催案内

主催 大阪府立大学工業高等専門学校, レスキューロボットコンテスト実行委員会
共催 計測自動制御学会 システムインテグレーション部門
協力 NPO 法人 国際レスキューシステム研究機構

開催日時: 2012 年 7 月 8 日 (日) 14:00~16:00

開催場所: 神戸サンボーホール 1 階 (〒651-0083 神戸市中央区浜辺通 5-1-32)

アクセス方法 <http://www.kobe-sanbo.com/access/>

参加費: 無料

講演会内容

ICT (情報通信技術) を使って消防隊員を遠隔地からサポートするレスキューベストに関する成果報告, 消防隊員による災害現場での情報伝達 (情報共有手段) や, 現場で着用する衣服や装着品に関する現状および問題点に関する講演. レスキューベストのデモンストレーション, 評価, 高度機材としてのロボット技術活用に対する意見交換などをパネルディスカッション形式にて行う.

スケジュール

□ 14:00~14:10 挨拶, 開催主旨説明

□ 14:10~14:40 講演 1 「ICT 技術を用いたレスキューベストの開発」

土井智晴 大阪府立大学高専 総合工学システム学科 准教授

近年, レスキューロボットなど高度な消防関係資機材が多く研究され, その成果として東日本大震災の被害調査等の現場で活躍しています. しかし, それら資機材を緊急時にも使用するには細かな操作伴うため, 我々は高度な資機材の操作を遠隔地から支援するため ICT 技術を適用したレスキュー隊員用のベストを開発しました. 本講演ではそのベストの概要を説明します.

□ 14:40~15:10 講演 2 「災害現場におけるコミュニケーションツールと P.P.E の活用」

畑中錦也 豊田市消防本部 中消防署消防 2 課 救助担当

多くの災害を想定した訓練によって現場活動に必要な知識と技術を培うことで, 消防職員は自身の活動がより効率的に進めていけるように常日頃から試行錯誤しています. その中でも無線機などを使用した隊及び隊員間での情報の共有化や個人保護具 (P.P.E) による安全性の向上に力を入れており, その一部を紹介したいと思います. ※ P.P.E = Personal Protective Equipment

□ 15:15~16:00

実演およびパネルディスカッション

問い合わせ先

大阪府立大学工業高等専門学校 広報室

北川園美, TEL:072-820-8593, E-mail kitagawa@osaka-pct.ac.jp

「ICT 技術を用いた消防隊員遠隔支援用レスキューベストの開発」

<http://www.ct.osakafu-u.ac.jp/~doi/kakenhi/>